

部局名	総務企画部	所属名	総合企画課 統計調査室	所属長名	大野 信夫	電話	483-1151 内線2334
-----	-------	-----	-------------	------	-------	----	-----------------

## 1. 事務事業の位置付け・概要 (PLAN)

コード	3106	事務事業名称	統計調査総務事業						短縮コード	経常	3106	臨時	3694	
予算区分	会計	01	一般会計	款	02	総務費	項	05	統計調査費	目	01	統計調査総務費		
区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務		根拠法令等	八千代市事務分掌条例 八千代市行政組織規則第6条 八千代市統計協議会補助金交付要綱									

## 事業概要 (事務事業を開始したきっかけを含めて記入)

各種統計調査に係る総務管理業務として、統計調査が円滑に実施できるような環境づくりや、統計調査に関する情報の配信やデータの管理等を行い、統計調査の重要性を周知するために実施。

八千代市統計協議会への助成（各種統計調査に対応するため、昭和54年4月統計調査員の確保並びに育成を図るために発足）

総合計画の施策体系	5本の柱（章）	06	計画推進のために
	大項目（節）	01	パートナーシップによる市政運営と市民自治の推進
	中項目	01	パートナーシップによるまちづくりの推進
	小項目（施策）	02	市民参加体制の充実
	細項目	03	市民ニーズの的確な把握と市政への反映
	実施計画の計画事業		

計画事業の位置付けの有無	<input type="checkbox"/>	計画事業期間	平成21年4月～平成22年3月	計画事業費	千円
--------------	--------------------------	--------	-----------------	-------	----

## 2. 事務事業の目的・指標・実績 (DO)

対象 (誰を何を対象にしているのか)	統計情報の収集及び整理 八千代市統計協議会への補助（調査員の確保・育成）
手段 (具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	※平成21年度に実際に行なったこと： 統計調査に関する情報の収集及び配信、統計資料の管理 (○市ホームページに統計データ等の掲載、○広報による統計調査の啓発、○千葉県京葉ブロック研究会・市町村統計主管課長会議への出席、○統計協議会への入会案内等) 八千代市統計協議会への補助、県統計協会等への負担金の支出 (調査員研修会の実施、統計図書等の配布等) ※平成22年度に計画していること： 同上ではあるが、市ホームページ等の媒体を有効活用し統計に関する幅広い情報の提供を行う。
意図 (何を狙っているのか)	統計調査が街づくりや社会生活基盤の資料等に活用されていて市民生活とは切り離せない重要性等について周知を図り、各種統計調査が円滑に実施できるよう環境を整備する。
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外

区分	単位	20年度	21年度		22年度
		実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	八千代市統計協議会会員数	人	101	106
	指標2				
	指標3				
活動指標	指標1	八千代市統計協議会会員の調査員等延べ従事数	人	55	179
	指標2				
	指標3				
成果指標	指標1	調査員等に占める会員の割合	%	40	100
	指標2				
	指標3				
上位成果指標	指標1				
	指標2				
	指標3				

コード	3106	事務事業名称	統計調査総務事業			所属名	総合企画課 統計調査室
事業費(A)	財源内訳	単位	20年度	21年度		22年度	
			実績	計画	実績	計画	
		国 千円					
		県 千円					
		地方債 千円					
	一般財源 千円	538	663	633	1,903		
	その他 千円						
主な事業費の内訳			八千代市統計協議会補助金 200	八千代市統計協議会補助金 200	八千代市統計協議会補助金 200	八千代市統計協議会補助金 200	
人件費(B)	千円	5,712.9	7,302.3	7,309.3	7,309.3		
トータルコスト(A)+(B)	千円	6,250.9	7,965.3	7,942.3	9,212.3		

### 3. 事務事業の評価(S E E)

評価類型	評価事項	評価区分	理由				
目的妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結び付いている	この事務事業の意図として、各種統計調査が円滑に実施できるような環境を整備していくには、市民の統計調査に対する関心と理解を高める必要があり、市民参加体制の充実に結びつくと思われ、統計調査の結果が市民生活の方向性を的確に捉え市の施策や計画に反映される。				
		<input type="checkbox"/> 結び付くが見直しの余地がある					
		<input type="checkbox"/> 結びつきが弱い・ない					
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項					
	②すでに所期目的を達成しているか? ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	<input type="checkbox"/> 達成している	八千代市統計協議会の会員による統計思想の啓蒙や統計の活用についての周知などを行っているが、個人情報の保護意識や統計への無関心からの非協力など、全ての市民に統計調査の重要性が周知されているとは言えず、意図を達成しているとは言いたい。				
		<input checked="" type="checkbox"/> 達成していない					
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項					
	③民営化で目的を達成できるか?  ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 (民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)	<input type="checkbox"/> 可能性はある	統計法に基づき実施される各種統計調査の調査業務を、円滑に遂行するために必要な事務事業であり、現行の制度の中では民営化は不可能と考える。				
		<input checked="" type="checkbox"/> 可能性はない					
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項					
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか?	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のままでよい	国、県等からの受託事業である統計調査を円滑に実施できるよう、現状のままでよい。				
		<input type="checkbox"/> 見直す必要がある					
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項					
有効性・効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか? 可能性がある場合は、⑤-2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性向上の可能性がある					
		<input type="checkbox"/> 効率性向上の可能性がある					
		<input type="checkbox"/> 両方可能性がある					
		<input type="checkbox"/> 可能性がない					
	⑤-2 有効性や効率性を向上させる手段は何か? 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	<input type="checkbox"/> 民間委託等	八千代市統計協議会による統計思想の啓蒙だけでなく、市広報紙や市ホームページ等を活用し統計調査の重要性や調査への協力を幅広く行うとともに、大規模調査で必要となる調査員の早期確保を行うことにより有効性の向上が図れる。				
		<input type="checkbox"/> 臨時の任用職員等の活用					
		<input type="checkbox"/> IT化等の業務プロセスの見直し					
		<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し					
		<input type="checkbox"/> 類似事業との統合・役割見直し					
		<input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の方法					
	⑤-3 推進にあたっての課題はあるか?(一時的な経費増・市民の理解等)	類似事務事業名称	1		実施主体(所管部署)		
		2			実施主体(所管部署)		
		<input checked="" type="checkbox"/> ある	統計調査の重要性が理解されていないと伴に、プライバシー保護意識の高まりにより協力を得ることが難しい。				
		<input type="checkbox"/> ない					

コード	3106	事務事業名称	統計調査総務事業	所属名	総合企画課 統計調査室															
今後の方向性	<p>⑥この事務事業の今後の方針を選択し、その詳細について右欄に記入する。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 改革・改善して継続	各種統計調査を円滑に実施していくには、統計の重要性等や実施予定等を広く周知すると併に、調査の時期や規模等を考慮し調査員の計画的な確保を行う必要がある。																	
		<input checked="" type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善																		
		<input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小																		
		<input type="checkbox"/> 統合・役割見直し																		
	<input type="checkbox"/> その他																			
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止																			
	<input type="checkbox"/> 事業完了																			
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続																			
<p>⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成 果</th> <th rowspan="2">向 上</th> <th colspan="3">経 費</th> </tr> <tr> <th>削 減</th> <th>不 変</th> <th>増 加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>不 變</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>低 下</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </tbody> </table>	成 果	向 上	経 費			削 減	不 変	増 加	不 變	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低 下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	広報紙の活用、公共施設の利用者、市関連団体への周知や統計協議会の協力を得るなど、経費を現状維持させたまま成果の向上を図る余地があると考えられる。		
				成 果	向 上	経 費														
		削 減	不 変			増 加														
		不 變	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>															
低 下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																	

<p>この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見）  ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など</p> <p>平成22年度予算審査特別委員会の中で、平成22年国勢調査の実施に必要となる調査員の確保について、早い時期からの対応を図るよう要望された。</p>					
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	--	--	--

所属長コメント	<p>統計調査を取り巻く環境は、生活形態の多様化や社会的変化により、大変厳しい状況に置かれている。統計調査が円滑に実施できる環境を作ることが、市民の市政への参加につながって行くとともに、統計調査で得た情報が社会生活に重要な役割を果たしていることから、幅広い周知を行い統計に関する理解を深めることが必要である。この事業を継続して行くことにより、統計調査の環境づくりや調査員への市民参加へと繋がると思われる。</p>					
評価調整委員会評価	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他	統計調査の協力と調査員の早期確保に向け、課題解決に努め、順次推進すべき。				
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止					
	<input type="checkbox"/> 事業完了					
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続					